

「親切な仕方でこの時代の終わりが近づいていることを伝える」

(資料:愛を込めて弟子を育てる>教えて育てる レッスン 3 親切に ポイント 3.相手のことを思いやる)

1. 私たちの宣教にはこの時代の終わりが近づいているという警告を広めることも含まれている

イエスがエホバの恵みの年と神の復讐の日について広められたように私たちも警告を鳴り響かせる (S2405No20_0727_愛を力にして良い知らせを伝える 15 節)

…私たちはこれから起きることについて警告し続ける必要があります。この邪悪な体制の終わりがどんどん近づいていることを人々は知る必要があります。その終わりが来る時、私たちが伝えていたメッセージがエホバから来ていたことを全ての人が知ることになります。

2. どのようにエホバからの警告を親切な仕方で伝える必要があるか？

(何か参考になるヒントや要因があるか？)

- ・宣教自体が親切な行動であることを理解していただく(例え:災害が近づいている時の予報)
- ・相手の親切な対応に感謝したり、暗い世の中で頑張っておられることへの労いを伝える
- ・この暗く息苦しい時代から解放される、新しい時代への変化が必要であることを考えていただく
- ・よく考慮した質問をして、この時代の終わりについて考えていただく

3. どんな質問をして終わりが近いことを考えていただくことができるか？

(何か参考になる提案があるか？)

- ・地上の貪欲な悪い人たちが居なくならない限り、良い時代にはならないと思いませんか？
- ・地球全体の滅びが近づいているかもしれないと考えられたことはないか？
でも聖書ではこの地球が永遠に存続する神の約束の言葉が述べられている。では何が滅びる？
- ・私たちが家々を何十年にもわたり何度も何度も訪問していること自体、終わりが近づいていることの印であることをご存じでしたか？では終わりが近いのに、なぜそれが良い知らせになるのか？

5. 結論

では家から家や再訪問などで、質問を用いた親切な仕方でエホバからの警告を引き続き伝えていく